

第2期本庄市子ども・子育て支援事業計画実施状況（令和4年度）に対する質問と考え方

	提出された意見（質問）	提出された意見（質問）に対する考え方
1	<p>p.12 3-3-2 学習サポート事業 （取組の概要）すべての学年が複数クラスで…） 単数クラスの学年が地域にはあります。現状どのようにとらえていますか。複数クラスを構成することと、学習補助教員の配置をすることは、別だと考えますが…。</p> <p>これによって、小学校の統廃合が進んでいくのでしょうか。 その計画はありますか。</p>	<p>◎第2期本庄市子ども・子育て支援事業計画（以下「計画」） p.53 【学校教育課】 全ての学級が複数ある学校は、1学級の児童数が多いため、補助教員を配置しております。単級のある学校にも、児童数が多い学校には補助教員を配置しております。学校の統廃合には関係はございません。</p>
2	<p>p.13 3-4-1 放課後児童健全育成事業 （今後の方針）定員見直しや弾力運用を行い… 学校の空き教室を活用して実施していく予定はありますか。</p>	<p>◎計画 p.56 【子育て支援課】 現段階で具体的に活用していく予定はございませんが、今後待機児童の発生等により新たに検討が必要な場合は、学校の余裕教室の活用も選択肢の一つとして検討してまいります。</p>
3	<p>p.13 3-4-2 放課後子ども教室 （取組の概要）公民館にて、とか学校の余裕教室の活用を見据えて…放課後児童クラブとの一体運営について検討を進めます。 現状児玉小学校での実施はないように思われますが取り組んで3年たっていますが、現在どのくらい事業として進んでいるのでしょうか。放課後児童クラブとの一体運営についてどのようになっているのでしょうか。</p>	<p>◎計画 p.56 【子育て支援課・生涯学習課】 現在生涯学習課では、小学生学習支援事業「学ぼう舎」を公民館や本庄東中学校で開催しています。学校の余裕教室の活用については、学校との調整の結果、1校での開催となっています。 放課後児童クラブとの一体運営については、それぞれが学校内での実施ができていないため、実施に至っておりません。</p>

	提出された意見（質問）	提出された意見（質問）に対する考え方
4	<p>p.1 1-1-1～7</p> <p>ネウボラ子育て世代生活支援センターの機能や主な取り組みについて、細分化されまとまりがない。子育て世代というなら、中項目として親に対する支援施策ごとに項目を整理し、また中項目として子供に対する支援施設毎に項目を整理するのはいかがか。他の施策に分散している施策、例えば p.14 の 4-1-2,3,4 などネウボラにまとめられるのでは？</p>	<p>◎計画 p.37～38</p> <p>【子育て支援課・健康推進課】</p> <p>主な取り組みは計画 p.36 の施策体系に沿って整理されています。</p> <p>ご指摘の「本庄版ネウボラ」、いわゆる「子育て世代包括支援センター」は基本目標 1 の施策の方向性 1 「妊娠・出産期からの包括的な母子の健康づくり」に該当する機能ですので、p.14 の 4-1-2～4 の主な取り組みも含むものと考えます。</p> <p>次期計画策定にあたっては、取り組みの数など多い場合には、中項目を設けるなど整理して記載するよう努めたいと考えます。</p>
5	<p>p.2 1-2-3</p> <p>3 歳児検診受信者数は年々減少しているにも関わらず A 評価は？</p> <p>評価のなかに原因と対策を入れるべきではないか。</p>	<p>◎計画 p.39</p> <p>【健康推進課】</p> <p>健診受診者につきましては、集団健診に受診した人数で受診率を算出しています。各々の理由で受診できない者に対しては、電話や訪問、来所等で確認しておりますが、確認できた者の人数は受診率には含まれておりません。未受診者へは、個別に発育・発達状況の確認や保護者の育児不安に対応しているため、A 評価としました。</p> <p>評価の中に、未受診の原因及び対策、未受診者のうち確認できた者の数を入れることについては、検討してまいります。</p>

	提出された意見（質問）	提出された意見（質問）に対する考え方
6	<p>p.3 2-1-3</p> <p>7月27日第1回本庄市総合教育会議で討論に上がったように形式的に「拠点」整備されたが実質は職員の新規雇用？増員がなされただけで「拠点」が組織的な運用がなされていない、機能していないのでは？</p> <p>B評価は如何か？</p>	<p>◎計画 p.41</p> <p>【子育て支援課】</p> <p>令和3年4月から設置した「本庄市子ども家庭総合支援拠点」は、必要な人員配置を行うことで、児童虐待の予防と対応の強化を図ることを目的としています。保健師や社会福祉士等の資格を持った職員を配置することで専門性のある対応をとる体制を整えています。</p> <p>延べ相談対応件数は、令和3年度 4,549 件、令和4年度 8,066 件と増加しています。拠点設置を評価する数値として、妥当であると必ずしも言い切れませんが、体制整備による人員増と他機関との連携強化により相談対応件数が増えたと考えています。</p> <p>十分機能を果たしているかということであれば、全ての虐待への対応について十分ということは現段階で難しい面はありますので、B評価とさせていただきます。</p> <p>※子ども家庭総合支援拠点 別添</p>
7	<p>p.5 2-2-7</p> <p>実績0だがA評価。体制を整え相談を実施したとあるが、随時入所できる施設の目当てはあるということか？相談実施数も実績の評価対象になるのではないか？さすれば相談実施数は？</p>	<p>◎計画 p.43</p> <p>【子育て支援課】</p> <p>母子生活支援施設は、埼玉県に調整を依頼し県において入所を決定していただく制度となっております。令和4年度の実績はありませんでしたが、令和5年度は県と調整して、県内の施設を一時的に利用したケースがございました。</p> <p>相談実施数につきましては、入所相談に特化した統計を取っておりません。ただ、相談支援のなかでDVに関連したケースなどでは支援方法の選択肢のひとつとしてお示しております。</p>

	提出された意見（質問）	提出された意見（質問）に対する考え方
8	<p>p.5 2-3-2</p> <p>指標・単位が空欄で R4 に 2。意味不明。A 評価の理由欄文章が分かりにくい。</p>	<p>◎計画 p.44</p> <p>【子育て支援課・健康推進課・障害福祉課】</p> <p>指標・単位について、空欄となってしまった点についてお詫びして訂正いたします。「指標→子育て支援連絡調整会議開催数」「単位→回」となります。</p> <p>評価の理由欄については、「会議の開催やケース対応を通じ、<u>関係課</u>で情報を共有し支援の方向性を確認しながら、総合的に児童及び保護者の支援を行うことができました。」と修正を提案させていただきます。</p>
9	<p>p.7 2-4-1</p> <p>貧困対策推進事業は令和 3 年 11 月 24 日当会議の議事録で新規事業と説明されている。2 年後の今回も次期事業で策定予定とはいかがか。策定の資料としてアンケート実施するとあるが R 4 年度内現在まとまっている分、アンケート内容などだけでも議論の俎上に乗せられないものか？</p>	<p>◎計画 p.46</p> <p>【子育て支援課】</p> <p>令和 3 年度の会議にて、貧困対策計画については、予定としましては、この第 2 期事業計画が終了して第 3 期事業計画を作る頃を目安に、進められれば、と述べさせていただきました。</p> <p>現在の計画は来年度で終了となるため、今後アンケート内容についてもこの会議でご意見をいただく機会を設ける予定としております。</p> <p>本日アンケート内容としてご提示できるものはございませんが、国が実施している生活状況調査を基本としながら次期計画策定に向けた調査内容を検討していく予定です。</p>

	提出された意見（質問）	提出された意見（質問）に対する考え方
10	<p>p.11 3-2-13</p> <p>新規事業で講座開催案 具体的にはR 5 年度中に開催予定されているのか？おぼろげながらもその内容は？</p>	<p>【子育て支援課】</p> <p>令和5年度は、子育て支援講演会をアンガーマネジメントの一環として保護者の感情コントロールについて講師を招いてお話をしていただく予定で準備を進めております。</p> <p>気軽に参加していただけるよう、11月18日の本庄総合公園で開催されるほんじょう産業フェスタに併せて、シルクドーム内の多目的室で開催する予定です。</p>

	提出された意見（質問）	提出された意見（質問）に対する考え方
11	<p>p.13 3-4-1,2</p> <p>7月27日第1回本庄市総合教育会議で討議した内容と重複するが文言の問題かもしれないが「学ぼう舎」「アスポート事業」などとの関連はあるのか？どのように理解すればよいのか？</p>	<p>◎計画 p.46,56</p> <p>【子育て支援課】</p> <p>放課後児童健全育成事業は、いわゆる学童保育として、放課後や学校の長期休業中、保護者が就業等で在宅していないお子さんをお預かりする事業となっております。</p> <p>【生活支援課】</p> <p>アスポート事業は、2-4-2の「子どもの学習支援事業」として、生活困窮やその恐れのある世帯のお子さんを対象として実施されている事業となっております。</p> <p>【子育て支援課・生涯学習課】</p> <p>学ぼう舎は、市内全ての小学生を対象に公民館などを会場に実施しています。共働き家庭か否か、家庭の経済状況等の利用条件はありません。地域の方々の参画を得て交流することで、子どもたちの社会性を形成し、自己肯定感を高めることを目的とした事業となっております。放課後こども教室の一環として実施していますが、事業名として「放課後子ども教室」を使用していないため、次期計画策定においては、表記についても改めて検討します。</p>
その他	<p>小規模特認校制度について、どのくらい利用児童がいるのか、今後も継続していくのかなど、お聞きしたい。</p>	<p>【学校教育課】</p> <p>令和元年度から制度を導入し、8名の児童が仁手小学校に転入しました。卒業した児童、市外に転出した児童がおりますので、現在、6名の児童が仁手小学校に通っております。</p>